

アンケート調査集計表

方部名	市町村名	1 洪水・土砂災害ハザードマップ等防災計画の住民への周知(認知度向上)の徹底に関する取組	2 情報伝達手法の改善に関する取組
県北	福島市	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年4月から8月にかけて南本内地区、佐倉地区の事業所、土湯地区の要配慮者施設等において出前講座を6回開催し、改めて周知を図った。 平成30年9月から11月にかけて洪水ハザードマップの見直しに伴う説明会を22地区で開催し、改めて周知を図った。 平成31年1月に想定最大規模に対応したハザードマップの見直しを行い、全戸、全事業所へ配布した。 平成31年6月までに住民説明会を開催する予定。 平成31年度からまるごとまちごとハザードマップ事業に着手予定。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度にHPや広報誌、防災訓練、防災講話等、あらゆる機会を利用して、情報伝達手段について住民に周知した。 平成31年度末までに防災情報配信システム(同報系)の整備と戸別受信機の配備を検討。 平成31年度に携帯端末を利用した登録制メールやテレビ・ラジオ(コミュニティFM)の積極的な活用に向けて、防災訓練、防災講話等、あらゆる機会を利用して住民へ周知する予定。
	二本松市	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度末に新総合ハザードマップを作成し、全戸に配布予定。 また、平成31年度にはハザードマップについて地域毎に住民説明会を実施予定。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度中に防災行政無線を整備する。また、防災ラジオの追加配付を行い、住民へ確実に避難情報を伝達できるよう環境整備を行う。
	伊達市	<ul style="list-style-type: none"> 市主催の防災セミナーを開催して、防災マップの周知を行った。 自主防災組織等の講演会や、河川砂防課の土砂災害危険箇所説明会の時に防災マップの周知を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年3月末までに土砂災害特別警戒区域に居住する住民を対象に防災行政無線の個別受信機を配備する予定。 自主防災組織等の講演会で、情報伝達手段について住民に周知した。
	本宮市	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度から市内全地区(大字単位)において自主防災組織の設立・育成に係る説明会を実施しており、平成30年度もハザードマップ等を活用しながら、各地域に応じた防災情報について改めて周知を図った。 平成31(2019)年度に、ハザードマップの見直しを行い、洪水・火山・ため池等のハザードマップをまとめた「防災マップ」を全戸に配付する予定。 平成31(2019)年度、ハザードマップ等をもとに想定される災害を仮定した防災訓練を地域住民協力のもと実施する予定。(平成25年度より対象地区を変えて毎年実施。平成30年度は台風接近により中止。) 	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度、「自動起動FM緊急防災ラジオ」(災害時持運可)の市内全戸・市内事業所への配付 平成31年度から平成32年度にかけて、防災行政無線のデジタル化(文字放送対応)を実施する予定
	国見町	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年3月に防災マップを改訂し、5月に自主防災会役員を対象に説明会を開催した。その際に役員を通して全戸配布を行った。 また、災害時でも閲覧できるよう平成30年5月に町のHPにアップしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難情報等が町民に確実に伝わるよう防災訓練時に防災行政無線の受信について各世帯で確認している。修繕等については随時対応している。
	川俣町	<p>【平成30年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ハザードマップ更新に向けた情報収集 避難所等の見直し 県による土砂災害危険箇所等の見直しを確認及び反映 更新による仕様や記載内容の検討 <p>↓</p> <p>【平成31年度の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ハザードマップ更新、配布 ハザードマップ更新後に地区説明会を開催予定 (H31年度に防災行政無線のデジタル化が完了し、翌32年度より運用開始に関する説明会に合わせて行う予定) 	<ul style="list-style-type: none"> 防災行政無線のデジタル化に伴い、新たに同報系無線の整備を行っており、平成29年度から平成31年度までの3年間で取り組んでいる。 現時点では消防団による広報や緊急速報メール及び登録制メールの配信により情報伝達を行っております。これまでの手段に加え、平成32年度からは防災行政無線の整備が完了するため、屋外スピーカーや個別受信機による情報伝達が可能となり情報伝達の強化が図られる。
	桑折町	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年9月の広報紙において「水害に備える」と題し、浸水想定区域等を周知した。 平成30年10月にハザードマップの見直し(想定最大規模等)を行い、全戸配布した。 平成31年度、伊達崎地区において阿武隈川における最大規模の浸水を想定した防災訓練を実施予定。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度の防災訓練において、使用方法の習熟を図るため、(移動系)防災行政無線による情報伝達訓練を実施した。31年度の訓練においても実施予定。
	大玉村	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度土砂災害ハザードマップの作成・全戸配布 村防災訓練時の避難訓練参加住民へのハザードマップ等の説明会 	<ul style="list-style-type: none"> 予定無し